

南区区民会議提言・意見対応状況(H29.4.1現在)

期別	年	no.	提言内容	対応状況(アウトカム)		事業効果(アウトプット)	備考
				状況	見込		
1	H16	1	防犯、防災パトロールへの支援強化	○	—	南区防犯パトロール協議会への助成及び講習会実施。平成18年度から「さいたま市地域防犯活動事業助成金」制度開始	(市)各種防災マップの作成、地域防犯活動助成金交付事業等
		2	高層マンションの消火活動調査(消防署の対応や震災後の救援体制などを含め)(説明会の要望)	○	—	平成17年度区民会議において高層マンションの消火活動、防災について	第2期区民会議政策提案の参考となった
		3	子育て環境の実態把握と支援策の研究(説明会の要望)	○	—	平成17年度区民会議において、「子育て応援ブック」、「さいたま子育てWeb」についての説明	第2期区民会議政策提案の参考となった
		4	すべての幼児医療費無償の実現(説明会の要望)	○	—	平成17年度区民会議において、市独自の子育て支援策、子育て支援センターとマズルームの設置数、平成18年からの乳幼児医療費削減等について説明	現在では、健康保険に加入している0歳から中学校卒業前までの市民に対し、様健康保険各法の規定による一部負担金(保険診療分)の全額を助成(自己負担金の無料化)
		5	南区主催によるシニアユニバーシティの開校	○	—	平成18年度から南区まちづくり大学を開校。人づくりをテーマに各種講座を開設	(市)シニアユニバーシティ等、学習機会の増加に伴い、平成23年度に終了
		6	蛭を飛ばす市民まちづくり活動への支援	○	—	一部の自治会などで活動中	自治会を中心とした蛭の観賞会が開催されている
		7	情報発信についての研究支援(ホームページの作成を含め)	○	—	平成18年度に自治連HP、区民会議HP開設	Nus Today等各種情報媒体が設置。協議体になったことから26年度に区民会議ホームページは閉鎖
		8	区内文化人・アーティストのネットワークづくりの研究支援	△	継市	文化振興事業団内にアーティストバンクが設置された	トリエンナーレ等、文化・アート事業の実施に伴い、拡充している
		9	区民会議制度の改正(委員数の拡大、辻地区など区内地区代表の補完)	○	—	平成18年度区民会議の活動指針となる「南区区民会議活動方針」を策定	第5期(平成23年度)から協議体に、第7期から意見聴取の場に制度改正
		10	区民会議の政策研究環境の改善(区民会議の日常的活動を行うためのスペースの設置及び部会活動に必要な研究資料、研究費等の予算確保)	○	—	平成18年度から講演会、研修会を実施するための予算を措置	第5期(平成23年度)から協議体が変わったことから暫時縮小
		11	区民参加のコミュニティ施設づくり	○	—	平成18年度要望書提出	新庁舎(サウスピア)に多目的室、多目的ホール等設置
		12	区民の街づくり活動の実態把握(地域活動白書の作成)	△	継コ	コミュニティ部会の活動を通じて、実態把握をしていく	南区市民活動ネットワーク制度、市民活動サポートセンター、社会福祉協議会等で団体把握・活動紹介を行っている
2	H17	1	「南区防災計画」の策定に向けた調査委員会の発足 情報の受伝達体制を含む「南区防災計画」の策定に向けた調査委員会(ワーキンググループ)の発足 南区防災計画の内容(参考例) (1)情報伝達手段 ・大災害時にも区民緊急情報を伝えることが可能な通信システムの構築 ・安否情報システムの早期実現 ・防災拠点におけるPC施設の利用、学校施設の利用可能性等について (2)避難・誘導体制・ライフラインの確保・基本的食糧の確保 ・大災害時における救急・救急の待加アーム、地域防災リーダー、防災パトロール等の育成 ・災害時ボランティアの育成(人財ネットワークの構築) ・災害時における市(区)職員、学校教職員の配置、役割等の公表 ・ライフラインの確保(大災害時のプランの明示) ・基本的食糧(備蓄体制と備蓄場所、配布体制など) (3)避難訓練 ・多くの区民参加による大規模訓練、災害別訓練、緊急情報伝達体制の確認 (4)継ぎ目のない(シームレスな)救急、救命体制の構築 ・人の導線分析、救急のアクセス、治療の工程分析など	△	—	平成18年度に災害時における避難所の管理・運営について説明会	(市)防災各種計画、南区災害対策本部活動マニュアル策定
		2	「南区民防災マップ」等の充実 (1)「南区民防災マップ」の充実 ・警察署、消防署、電力会社、ガス会社などの作成している資料、ガイドブックを総合したもので、必要な情報の一元化を図り、区民が利用しやすいもの (2)「南区区民防災ガイドブック」あるいはリーフレットの作成 ・「南区区民防災ガイドブック」の充実化 (例)行政の組織図の明示:中央、県、市、区あるいは警察、消防関係などの防災対応の責任体制の組織図の明示、公表	△	—	?	(市)浸水防災マップ、洪水ハザードマップ、地震防災マップ等の作成
		3	井戸水水質検査の効率的実施	○	—	部会で、井戸の調査を実施。結果を自主防災組織に通知。水質検査の依頼	保健所による井戸水検査(有料)実施
		4	家屋診断の実施	○	—	?	(市)耐震化促進事業、耐震助成事業
		5	防犯・防災パトロールへの支援強化 地域の安全・安心ネットとの連携強化	○	—	?	(市)地域防犯活動助成金交付事業
		6	高層・中層マンションの消火活動調査 消防署の通常火災・震災後の対応・救援体制などを含め	△	—	?	(市)高層マンション防災ガイドブック作成
		7	高齢者・乳幼児をもつ親・児童などが気軽に交流できる身近な場の確保について 自治会館や集会所などの借上げ、空き家の買上げなどによる居場所づくり。管理運営については自治会・民生委員を中心とする地域のボランティア募集による体制をつくる。	△	継市	?	自治会集会所借上事業、空き店舗活用地域コミュニティ活性化推進事業等
		8	建設予定の南区役所等新庁舎の建設計画進捗状況に関する情報提供及び説明会の実施について	○	—	平成18年度に公共施設棟建設計画の進捗状況を説明。その後、区民を交えて、駅前コミュニティ施設の視察やワークショップ形式で勉強会を行ない、意見・要望をまとめる	平成25年より複合公益施設サウスピア供用開始
		9	身近なゴミの減量化に向けた協働について	○	—	区民を対象に環境美化・ゴミの減量への意識向上を目的に「まちづくり講演会」や「視察」を実施。引き続き、研修会等を通じて啓発活動を継続	平成27年度1人当たり家庭ごみ排出量(17年度比)50kg/年減少(世帯当たり150kg/年減少)
		10	まちづくり活動において、小さな実践を積み重ねていく上で励みになる表彰制度の実施について	○	—	?	平成28年度より南区まちづくり功労者顕彰事業
		11	南区内の路上喫煙防止化の検討	○	—	平成18年度「さいたま市路上喫煙禁止条例制定」について5区区民会議で共同提案	武蔵浦和駅・南浦和駅周辺に路上喫煙防止区域を設定
		12	地域の子育て支援活動の協働化について 子育てサロン等の子育て支援センターを補完する取り組みに対する支援	○	—	具体的な内容について福祉部会にて継続協議。平成18年度子育て関連施設を視察	チャレンジスクール、子育て事業等を行う団体の支援(補助金等含む)により、活動団体増加
		13	武蔵浦和駅周辺地区の住民数の増加を受けての保育所等の新設について	○	—	?	
		14	南区役所新庁舎の施設の併設について 新庁舎内に託児施設・図書館、ボランティア活動室、会議室などの併設	○	—	平成18年度に公共施設棟建設計画の進捗状況を説明。その後、区民を交えて、駅前コミュニティ施設の視察やワークショップ形式で勉強会を行ない、意見・要望をまとめる	サウスピアに子育て支援センター、図書館、多目的室、コミュニティセンターを設置
		15	市内一律「区民会議要綱」の見直しについて (1)委員数、委員選出方法、委員人数の増・構成の再考 (2)区民会議ならびに部会における研究活動の充実(予算を含む) (3)広報活動の充実・支援(予算を含む)	○	—	平成18年度区民会議で、委員数や選出方法、活動予算等について事務局から説明。平成19年2月、南区区民会議マニュアル(平成16年6月26日制定)を整理し、「南区区民会議活動	第5期(平成23年度)等、現況に応じて暫時見直し
		16	公共・公益施設・学校施設の活用とそのための協働の仕組みづくり (1)区民会議・コミュニティ会議・指定管理者(団体)との利用における運営組織の設置などの仕組みづくり (2)小中学校空き教室・IT教室の利用等における協働仕組みづくり	×	廃	具体的な内容について広報委員会にて継続協議	区民会議が協議体、コミュニティ会議は市民活動ネットワーク制度に変わったことから必要性がなくなった チャレンジスクール等の実施
		17	区民会議と市レベルの各種委員会との連携について (1)市レベルの各種委員会への区民会議委員の選出 (2)政策決定にかかわる各種委員会のスケジュールや議事録等の情報の共有	×	廃		現状にそぐわないため未対応。区民会議提言・意見の具現化に伴い、間接的に各局との連携が図れている
3	H18	1	南区内の自主防災組織編成の100%早期達成				
		2	自主防災組織を含む実地訓練の早期開催と定期開催				
		3	避難所の開設・運営などの訓練の実施と避難所の機能・限界についての周知				
3	H19	20	防災まちづくりに対する提言 1 避難場所を単位とした地域防災体制の整備 多様な団体が参加した避難場所運営委員会の早期立ち上げ、地域防災リーダーの育成、「避難場所夜間訓練」「防災マップづくり」DVDの有効活用	○	—	担当局へ送付	避難場所運営委員会立上げ済、防災アドバイザー制度実施
		2	避難場所の備蓄品と設備の充実 乳幼児や高齢者、障害者など災害時要援護者の立場に立った備蓄品の充実、災害用マンホール型トイレなどの設備充実	○	—	担当局へ送付	防災備蓄品更新、災害用マンホール型トイレ避難場所に配置済
		3	学校や公民館等避難施設の耐震化	○	—	担当局へ送付	区内小中学校、公民館耐震化済
4	H21	22	南区を「ふるさと」と呼べるまちづくりに対する提言 1 区の花「ヒマワリ」を活かしたまちづくりの推進 新区役所内装にヒマワリをあしらうなどの区の花PR、身近な広場や公園に「ヒマワリ」を植栽するなどの区の花を活かしたまちづくりの推進	○	—	・サウスピア吹き抜け部などの壁面に、図案化したヒマワリを装飾 ・南区役所の周辺に、ヒマワリを栽培 ・区内の小中学校、保育園の花壇やプランターで、ヒマワリを栽培 ・南浦和駅前の植樹帯やスカイフラワーパークなどの広場で、ヒマワリを栽培	活動団体と連携した区役所周辺、小中学校等でのヒマワリ植栽を継続して実施
		2	「南区魅力発見かるた」を活かしたまちづくりの推進 ジャンボかるた大会の継続実施、放課後チャレンジスクールなどでの活用	○	—	活動団体による、南区フェア・チャレンジスクール等でのジャンボかるた大会の実施	チャレンジスクール校の拡大等、継続して実施
		3	南浦和駅周辺の放置自転車対策 南浦和駅周辺における既存駐輪場の一部短時間駐輪場化または路上への駐輪場設置検討も含めた放置自転車対策の強化	○	—	担当局へ送付	・駐輪場の一部の短時間駐輪場化 ・路上への駐輪場の設置検討

期別	年	no.	提言内容	兄(アウトカム)	状況見込	概要	事業効果(アウトプット)	備考						
5	H23	1	区の花[ヒマワリ]を活かしたまちづくりに対する提言	兄	見込	概要	事業効果(アウトプット)	備考						
			「ヒマワリ」のイメージや図案を南区のシンボルとして活用するために						△	区長マニフェストに区の花ヒマワリのPR、区への愛着・親しみの推進を明記	活動団体と連携した区役所周辺、小中学校等でのヒマワリ植栽を継続して実施			
			(1)「ヒマワリ」にちなんだ区民参加型プログラムの開発						○	自治会の掲示板にヒマワリを印刷したステッカーを貼付 ・サウスピア西側の「市道第667号」を「ヒマワリ通り」と命名 ・サウスピア吹き抜け部などの壁面に、図案化したヒマワリを装飾	平成26年度より、ヒマワリ通り浦和大里小学校フェンスに区内児童によるヒマワリ作品パネルを掲出する等、PRを継続			
			(2)区内各所でヒマワリをアピール						○	・ヒマワリを印刷したステッカー、ロール紙を作成して、業務用紙 (4)区内スイーツ店により開発されたスイーツなど、企業と団体の協力による実施と販売	南区フェアなどの区内各種イベントでのコーヒークッキーの配布・販売を継続			
			(3)「ヒマワリ」の名物・名産品						△	ア 食のさい10 【平成23年10月8日】 イ 市民活動ネットワーク登録団体による開発・作成・販売の実施【平成24年11月3日】 ウ さいたまるしえ 【平成24年11月24日】				
		(4)南区(区役所)のふるさとイメージシンボルとしての活用	○	・市内転入転居者へミニヒマワリ栽培セットを配布 ・ヒマワリを印刷したクリアファイルを作成し、南区ふるさとふれあいフェアで活用 ・区のキャッチフレーズのぼり等啓発物に積極的に「ヒマワリ」を表記(フロアマット、公用車用マグネットなど)	ヒマワリパッチ等を作成し、区民に配布する等、継続して実施									
		2	区の花「ヒマワリ」を区内各所で咲かせるために	兄	見込	概要	事業効果(アウトプット)	備考						
			(1)公共施設・公共空間での栽培						○	・南区役所の周辺に、ヒマワリを栽培 ・区内の小中学校、保育園の花壇やプランターで、ヒマワリを栽培 ・南浦和駅前の植樹帯やスカイフラワーパークなどの広場で、ヒマワリを栽培 ・ヒマワリの種や栽培キットを南区ふるさとふれあいフェアやサウスピア落成式、ヒマワリ通り除幕式などで配布	・活動団体の増加、小中学校の他、公民館等でも植栽実施 ・花と緑のまちづくり推進事業と連携し、区内の公園や散歩道での植栽も増加			
			(2)事業者の敷地や家庭での栽培						○	・JR駅、浦和競馬組合等栽培協力 ・ヒマワリ種を配布	平成27年度より、ガーデニング教室を開催し、家庭での栽培を支援			
			(3)ヒマワリ栽培のための担い手の育成や活動支援						○	区民会議委員を中心とする団体発足	花と緑のまちづくり推進事業と連携し、活動団体を育成・支援。活動団体増			
		(4)ヒマワリ栽培のための情報収集や技術支援	○	・活動団体による先進地視察 ・専門業者からのノウハウ学習	ガーデニング教室等を通じて区民に技術支援									
		3	提言の取組について 取組の推進・成果や効果の確認・新たな課題の把握による提言を活かすための環境の整備	兄	見込	概要	事業効果(アウトプット)	備考						
		6	H25	1	地域力の向上につながる情報発信に対する提言	兄	見込	概要	事業効果(アウトプット)	備考				
					「私たち区民自身の「南区への興味・関心を高める」事業						○	-	市報さいたま南区版の表紙に大項目(トピックス)を掲載するとともに、紙面構成・フォント等を改善 コミュニティセンター及び各公民館において活動団体等の専用掲示板を設置	掲載記事に関して区民がより情報を取得しやすくなった 団体活動PRにつながっている
					(1)広報紙編集改善モデル事業									
(2)公共施設への活動団体等専用掲示板設置事業	○				-						各種イベントや自治会等へのアンケートを実施するとともに、意見交換会やタウンミーティングを継続して開催	区民意識・意見を多様な場所・方法で聴取し、事業の改善につながっている		
2	情報を「受け取る側の意識改革を行う」事業				△						継市	市民活動サポートセンターの団体検索機能リニューアル等、各所管で対応中	下記、「情報提供センター機能構築事業」と連携する形で検討中	
区民の情報ニーズ把握事業														
3	「伝えたい情報を、効率的・効果的に伝えたい人へ確実に伝える」事業				△						継市	市民活動サポートセンターの団体検索機能リニューアル等、各所管で対応中	下記、「情報提供センター機能構築事業」と連携する形で検討中	
ホームページ内への情報バンク設置事業														
4	「行政と区民の協働や、各団体と連携して活動できる環境をつくる」事業				△						継市	担当局へ送付	(市)地域ポータルサイト「Nus today」、各種スマートデバイス用アプリケーション等による情報提供を実施	
情報提供センター機能構築事業														
5	「情報を共有できる場をつくる」事業	△	継市	(区)・コールセンター及び受付等で対応済 ・窓口でのタブレット使用検討 ・区総合受付(情報公開コーナー)への区内各部署からの情報集約、伝達機能の整理・効率化の検討 (市)コミュニティセンター、図書館、公民館等において、インターネットやタッチパネルを利用した受付・案内を実施	(区)平成29年度より各区役所の一部窓口においてタブレット使用開始予定 (市)公共施設予約システムをリニューアルするなど、使いやすいシステムづくりを推進中									
情報コンシェルジュモデル事業														
H26	1	1	「南区プロモーションのために」	兄	見込	概要	事業効果(アウトプット)	備考						
			自転車専用レーンが整備され、交通マナーが向上していきま						△	継市	(市)自転車専用レーンについて、再開発区域を中心に暫時整備中	自転車専用レーンについては、武蔵浦和駅周辺の約2km区間について整備済。自転車通行量は、平成26年12月の15.7%から平成28年9月には33.5%と18%増加 毎年、継続して実施		
			(1)自転車専用レーン等の整備・促進											
			(2)交通安全教室等の充実 (3)住民と協働による自転車マップの作成						○	-	(区)警察と連携した高齢者向け自転車教室を開催 コミュニティサイクル事業等で、マップを作成済			
			2						健康長寿を目指すまち	○	-	スポーツ活動団体によるバドミントン教室やエアロビクス教室など多世代が参加するイベントを開催 (市)平成28年度より健康マイレージ制度開始 (区)・各区ウォーキングマップを活用したスタンプラリー実施 ・健康維持を目的とするウォーキング教室等開催 さいたまマーチ等のイベント時における情報発信	公民館等での開催を含め、教室等の継続実施により、参加者数増 区事業の他、団体によるイベントも増 NusToday、地域企業等による発信媒体増	
			(1)公共施設を活用した健康づくりイベントの拡充											
			(2)健康長寿につながるイベント参加の促進 (3)イベント情報の効果的発信											
			3						地域で自分らしく生き生きと暮らしていけるまち	△	継市	・ぼらたま(ボランティア情報サイト・社協)の活用による各公共施設(主に公民館)での案内検討 ・市民活動団体による子育て中の親や介護者を対象にした各種サロン等の開催・実施 ・コミュニティカフェと連携した地域における生活支援サポーターの養成、自治会・PTA・民生委員等が参加するミニフォーラムの開催、タブレットの活用による高齢者見守り・支援のトライアル事業を準備	・市民活動団体等による各種取組増 ・コミュニティカフェとのマッチングファンド事業としてICTの活用による地域の見守り支援事業を平成27、28年度実施	
			(1)住民の交流と助け合いの促進											
			(2)持続可能な共助の仕組みづくり (3)介護者サロンやコミュニティカフェの積極的な活用 (4)地域住民による見守りネットワークの構築											
4	地域・コミュニティ内でみんながあいさつするまち	△	継市	区内小中学校及び自治会、PTA、青少年育成協議会、SSNと連携し、区内一斉あいさつ運動を実施	平成29年度 南区内一斉あいさつ運動実施(区内全小学校・6月、12月) 平成30年度 区内の小・中学校の参加で実施(5月、11月)									
(1)地域住民・企業による自発的なあいさつ運動の推進														
5	自治会加入率が高く、住民の交流・連携が進んでいきま	△	継市	・県宅地建物取引業協会さいたま浦和支部・大宮支部・埼玉支部との協定により、自治会加入の積極的な働きかけを実施 ・チラシ・グッズ・しおり等の作製・配布による自治会加入促進実施予定 ・各自治会の企業・団体との協働・連携の支援	・県宅地建物取引業協会さいたま浦和支部・大宮支部・埼玉支部との協定締結 ・北部・南部建設事務所及び民間指定確認機関を通じて、転入者に自治会加入についてのチラシをマンション等建築主に配布 ・チラシ・グッズ・しおり等の作製・配布による自治会加入促進実施 ・ホームページ開設自治会増									
(1)自治会設立・加入の働きかけの推進														
(2)自治会活動の広報による加入の促進 (3)住民と地域企業の連携による自治会活動の理解促進														
6	文化財にまつわる行事の継続・掘り起こしにより、区民の交流が活発化するまち	△	-	自治会等による地域イベントの支援継続、イベントへの小中学生の参加促進を検討	区内8公民館で活動しているサークルによる文化団体発表会への参加団体増									
(1)地域に残る伝統行事(無形文化財)の掘り起こし (2)実行委員会等の設立による地域文化の継承 (3)1地区(自治会単位)1無形文化財活動の推進														
7	芸術文化活動が活性化しな					△	継市	・芸術家と地域の交流促進に向け、既存施設や空き家・空き店舗を活用したアーティスト・イン・レジデンス(国内外からアーティストを一定期間招へいして、滞在中の活動を支援する事業)の実施(市文化芸術都市創造計画) ・アーティストバンク(文化振興事業団)の区との連携検討 ・アートフェスタにおける文化振興事業団等の団体と区との協働・連携を検討	トリエンナーレ開催等による芸術活動団体増					
(1)芸術家が集まりやすい環境整備の推進														
(2)アーティストバンク制度の創設 (3)(仮称)文化芸術活動活性化委員会の設立														
8	踊りを通じた区民同士の交流が活発化したまち	△	継市	・南区公民館発表会(2年に1回)の拡充を検討 ・区Webサイト中、イベントカレンダーの充実及びぼらたま(ボランティア募集サイト・社協)の利用促進PRを検討	・平成28年度南区公民館発表会開催 ・イベントカレンダー掲載数増 ・NusToday開始									
(1)実行委員会の設立と運営 (2)(仮称)南区総おどり大会の開催 (3)地域交流イベントの情報発信とボランティア募集の告知 (4)イベントボランティアの登録														

期別	年	no.	提言内容	況(アウトカム)		概要	事業効果(アウトプット)	備考				
				状況	見込							
7	H27 H28	地域交流の促進による安心して生き生きと暮らせるまちづくり	自治会活動への参加促進キャンペーン (1)集合住宅の住民に対して建物単位で自治会加入を促進 (2)マンガ版「もしも自治会がなかったら?」の作成 (3)自治会同士の交流会の開催 (4)自治会ホームページの普及拡大	○	継市	・(公社)埼玉宅地建物取引業協会とさいたま市、市自治会連合会が自治会加入促進に関する協定を締結						
									2 多世代の交流の場「(仮称)みなみフレンドパーク」の創設 (1)公的な空き地・空き施設などを交流イベントのために日常的に活用できる場として整備 (2)遊休地などでイベント開催し区東西間の交流を促進 (3)耕作放棄地などを活用した農業体験イベントの開催			
									3 高齢者の知識・経験を活かした区民セミナーの開催 (1)区内高齢者の人材バンク「(仮称)南区知恵袋」の設置 (2)コミュニティセンター・公民館などでのセミナー開催 (3)地域団体の要請に応じた出前講座の実施			
									4 イベントカレンダー「(仮称)コミコミなみ」をつくる (1)オープンイベントを南区の地図上に表示した説明の吹き出しをつけたマップの作成 (2)イベントカレンダー(マップ)を駅・大型店・コンビニなどに掲示 (3)市報南区版への折込や区Webサイトに掲載			
									5 シニアサポートセンター(地域包括支援センター)の周知・活用 (1)まちのクリニック・デイサービス施設・小中学校・公民館などにポスター掲示 (2)高齢者見守りキーホルダーの導入・普及促進 (3)シニアサポートセンターが中心となった子ども向けイベントの開催			
									6 地域・世代間交流を通じた、子育て支援策の充実 (1)子育てサークルやママ友サークルなど同じ環境の方たちが集まる場所づくり (2)保護者同士のネットワーク・フェイスブックなどのSNSを活用したセミナーや相談会の広報・周知 (3)世代別やテーマ別の公開講座の開催、学校にいるカウンセラーとの連携			
									7 使いやすい、居心地のよい公共施設への整備 (1)コミュニティセンター・公民館などにいつでも自由に使える場所を整備 (2)既存公共施設のバリアフリー化の促進 (3)自治会館などでの交流、自治会による交流・居場所づくり (4)空き家をリフォームして地域住民が活用			
									8 H29 南区の交流を促進するために	1 児童生徒と高齢者の交流を進める。…高齢者の安心・安全な道路利用 (1)交通安全講習会に児童・生徒が高齢者と共に参加 →交通安全講習会へ高齢者の参加指導 (2)小学生のヒヤリハットマップを地域で共有 →ヒヤリハットマップのバージョンアップ (3)児童生徒・高齢者が共に参加できるイベントの創設 →児童・高齢者が共に参加するイベントの企画、開催	2 学校区ごとに防災をテーマとした多様な層の交流を進める。…地域防災力の向上 (1)中学生を交えた地域防災力の向上 →中学生の避難所運営訓練への参加 (2)多様な層が防災活動に参加できる仕組みづくり →避難所運営委員会の充実 (3)防災をテーマにした多様な層の参加する交流・イベントの創設 →防災展などイベントへの他団体参加の促進	3 幼・壮・老の世代間交流を進める。…健康福祉、コミュニティ活動の活性化 (1)地域の自治会や団体が連携し、幼・壮・老の世代交流を深めるイベント開催 →既存交流イベントに新たな交流アイデアを追加 (2)SSNを活用した多層による地域交流のベースづくり →SSNを活用した地区イベントや活動団体紹介 (3)自治会活動と市民活動団体との連携促進 →自治会活動に市民活動団体が参加

具現化済、一部具現化・継続対応中(%) 94.7%  
具現化済(%) 64.0%

○計 48  
△計 23  
×計 4  
状況計 75

— 54  
継コ 8  
継市 9  
廃 4  
見込計 75

\* 既存組織 \*

① 身近な地域の活動・組織

自治会、老人クラブ、商店会、民生児童委員連絡協議会、  
自主防災組織、防犯パトロール協議会

② 学区を基盤とした活動・組織

PTA(小学校、中学校)、  
スクールサポートネットワーク協議会(小学校、中学校)、  
青少年さいたま市民会議、避難所運営委員会  
交通安全指導員連絡協議会

③ 地域施設を単位とした活動・組織

公民館運営協議会、コミュニティセンター地域連絡協議会  
地域包括支援センター、交通安全協会(警察署)

④ 行政単位

区役所、社会福祉協議会、消防署、消防団、警察署

⑤ 区全域を対象とした活動・組織

市民活動ネットワーク団体、スポーツ振興会、NPO